

# 蓮ヶ池横穴群

保存整備事業概報 VI

(横穴保存工事)  
(修景工事)

1992

宮崎市教育委員会



安海鎮空路村大池

## 序

宮崎市は、昭和59年の史跡選ヶ池横穴群保存環境整備事業計画策定以来、年次的に本事業の推進に努めて参ったところであります。

昭和60年度に横穴の計測調査を実施して以来「選ヶ池横穴群」保存整備事業概報Ⅰ(1986)、同概報Ⅱ(1988)、同概報Ⅲ(1989)、同概報Ⅳ(1990)、同概報Ⅴ(1991)、を刊行し、今回、同概報Ⅵを刊行することになりました。

本事業は、横穴の保存・環境の整備を主体に都市計画公園事業と一体化して史跡公園としての整備を進めるものであり、横穴の保存工事については、昭和61年度の12号横穴を始めとして平成3年度までに39基にのぼる横穴の復元・補強を行っております。

環境の整備及び都市計画公園事業については、本年度で事業を完了となり、史跡公園として開園を待つばかりとなっております。

また、これらの環境整備事業と一体化した「みやざき歴史文化館」建設につきましても、平成2年7月に建築工事が着工し、平成3年度の展示工事を終えて、史跡公園と同様に平成4年度の開園を待つばかりとなっております。関連して、農工体験施設として、厩舎と鍛冶場の移設も終わり、古代農耕作物の植えつけを行っております。

平成3年度の主な事業としては、横穴保存工事として13号、23号、29号、30号、31号、35号横穴の前面壁被覆強化、洪道部の復元強化、玄室内強化を行い、特に、13号横穴は出土遺物等も多かったため玄室床面の復元を試みた埋葬状態習横穴として保存工事を行っております。修景工事としては、53号横穴の前庭部整形、張り芝のほか36号～39号横穴前庭部が急斜面のため地滑り止め工事及び見学道設置、修景工事を行っております。

なお、本報告書は、本年度の横穴保存工事及び環境整備工事を内容とするものであり、今後の文化財学習にご活用いただければ幸いに存じます。

本事業推進に貴重なご指導、ご助言いただきました文化庁及び奈良国立文化財研究所、並びに作業に従事いただいた方々に感謝いたします。

平成4年3月

宮崎市教育委員会  
教育長 柚木崎 敏

## 例 言

1. 本書は、史跡蓮ヶ池横穴群保存環境整備事業にかかる、横穴群の保存工事と修景工事の概報である。
2. 本事業は、平成3年度に国庫補助・県費補助を受けて、平成3年10月から平成4年3月までの期間に宮崎市教育委員会が実施した。
3. 組織は次のとおりである。

事業主体	宮崎市教育委員会		
保存環境整備指導	文化庁記念物課	主任調査官	田中哲雄
横穴保存工事指導	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター研究指導部		
	遺物処理研究室	室長	沢田正昭
事務局	宮崎市教育委員会	教育長	柚木崎敏
	◇	教育局長	河野喬
	◇	文化振興課長	瀬戸口進
工事担当	◇	主幹	野間重孝
	◇	主事	米良明信
庶務担当	◇	主事	井上治美
4. 本概報の執筆は野間が行った。
5. 掲載した図面の整図、及び図版の作成は、野間、米良、中山、橋本が分担してあつた。
6. 写真撮影は、野間が行ったが、大半の写真は工事施工者の工事経過写真を使用した。
7. 保存環境整備事業については、文化庁記念物課、安原啓示主任調査官、田中哲雄主任調査官、加藤光彦調査官に指導助言をいただいた。
8. 横穴墓の保存方法については、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター研究指導部遺物処理研究室、沢田正昭室長に指導助言をいただいた。
9. 本概要の編集は、野間が主として行った。

## 本文目次

第1章 位置と環境及び事業の経緯	1
1 位置と環境	1
2 事業の経緯	2
第2章 平成3年度保存環境整備事業の概要	16
1 横穴保存工事	16
(1) 13号横穴	
ア. 構造と現況	
イ. 保存工事	
ウ. 葬制学習復元工事	
(2) 23号、29～31号、35号横穴	
ア. 構造と現況	
イ. 保存工事	
2 修景工事	19
3 都市計画公園整備事業	19
4 みやざき歴史文化館建設事業及び関連事業	20

## 挿図目次

第1図	史跡運ヶ池横穴群位置図	4
第2図	史跡運ヶ池横穴群分布図	5
第3図	運ヶ池史跡公園平面図	7
第4図	保存工事図面 (1) 第13号横穴遺構復元図。玄室被覆板整備工事図①	9
第5図	保存工事図面 (2) 第13号横穴遺構復元図。玄室被覆板整備工事図②	10
第6図	保存工事図面 (3) 第23号横穴遺構復元図	11
第7図	保存工事図面 (4) 第29号横穴遺構復元図	12
第8図	保存工事図面 (5) 第30号横穴遺構復元図	13
第9図	保存工事図面 (6) 第31号横穴遺構復元図	14
第10図	保存工事図面 (7) 第35号横穴遺構復元図	15

## 図版目次

図版1	13号横穴「全 景」	21
図版2	13号横穴「保存工事着工前」	21
図版3	23号、29号、30号、35号、31号横穴「全 景」	22
図版4	23号横穴「保存工事着工前」	22
図版5	29号横穴「保存工事着工前」	23
図版6	30号横穴「保存工事着工前」	23
図版7	35号横穴「保存工事着工前」	24
図版8	31号横穴「保存工事着工前」	24
図版9	13号横穴「ステンレス骨組支柱」	25
図版10	13号横穴「玄室及び羨道部復元骨組」	25
図版11	13号横穴「ステンレス金網固定針金取り付け状況」	26
図版12	13号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」	26
図版13	13号横穴「FRPによるウレタン被覆後の金網取り付け状況」	27
図版14	13号横穴「金網取り付け後のエポキシ擬土貼り付け状況」	27
図版15	13号横穴「羨道内部エポキシ擬土貼り付け状況」	28
図版16	13号横穴「玄室天井、羨道部保存工事完成」	28
図版17	13号横穴「玄室床面保護被覆板設置工事状況」	29
図版18	13号横穴「玄室床面保護被覆板設置工事完成」	30
図版19	23号横穴「羨道部復元ステンレス骨組」	30
図版20	23号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」	31
図版21	23号横穴「FRP貼り付け状況」	31
図版22	23号横穴「ステンレス金網取り付け状況」	32
図版23	23号横穴「エポキシ擬土貼り付け状況」	32
図版24	29号横穴「玄室及び羨門部復元ステンレス骨組」	33
図版25	29号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」	33
図版26	29号横穴「発泡ウレタン吹き付け整形状況」	34
図版27	29号横穴「FRP貼り付け状況」	34
図版28	29号横穴「ステンレス金網取り付け状況」	35
図版29	29号横穴「エポキシ擬土貼り付け状況」	35
図版30	29号横穴「サイト擬土貼り付け状況」	35
図版31	30号横穴「羨門部復元ステンレス骨組」	36
図版32	30号横穴「発泡ウレタン吹き付け後のFRP貼り付け状況」	36
図版33	30号横穴「ステンレス金網のビス止め状況」	37
図版34	30号横穴「エポキシ擬土貼り付け状況」	37
図版35	30号横穴「サイト擬土貼り付け状況」	38
図版36	35号横穴「玄室天井及び羨道、羨門口復元ステンレス骨組」	38
図版37	35号横穴「発泡ウレタン被覆、FRP貼り付け状況」	39

## 第1章 位置と環境及び事業の経緯

### 1. 位置と環境

史跡蓮ヶ池横穴群は、宮崎市の北部宮崎市大字芳士字岩永迫に位置し、一般的に「蓮ヶ池」と呼称されるように池を目前に控えたところである。

標高120.5mをもつ垂水台地から、宮崎平野に向かって開析された丘陵が延び出しており、丘陵端部は国道10号線より分断され、東西約1km、南北約1.3kmの独立状の丘陵地を形成している。

この丘陵地は、蓮ヶ池、中池、田池という連続する3つの溜池で二分され、南側丘陵は北側斜面が宅地造成され、南側及び東側斜面に県指定住古古墳（横穴）が分布している。北側丘陵は一部を除いて自然地形が良く保たれている。

北側丘陵分水嶺より、南側斜面部が国の史跡として昭和47年7月17日に指定を受けている。この指定地内は、西側に稲荷池、中央部に湿地の谷間、そして東側に御諏訪池と南北に入り込む谷間をそれぞれに挟む舌状丘陵が延びだし、池水と丘陵の照葉樹による絶好の環境をかもしだしている。

横穴は、大筋で南方向に羨門口を開口できる斜面に構築されており、現在までに82基の横穴が確認されている。

グルーピングについては「蓮ヶ池横穴群保存環境整備事業概報Ⅱ 1988」及びその後の追加分をいれた「蓮ヶ池横穴群保存環境整備事業概報Ⅳ 1990」に記載してあるが全体を把握する意味で下記のとおり説明をしておく。

#### 第1集団（指定地内西側の丘陵に分布）

- Aグループ（丘陵先端部西斜面に分布）——2. 3. 4. 5. 22号横穴
- Bグループ（丘陵先端部南斜面に分布）——6. 7. 8号横穴
- Cグループ（丘陵東斜面に分布）——9. 10. 11. 12. 52号横穴
- Dグループ（丘陵東斜面奥部に分布）——13. 14. 15号横穴
- Eグループ（丘陵東斜面支谷奥に分布）——16. 17. 18. 19. 20. 21号横穴
- Fグループ（丘陵東斜面支谷奥に分布）——79. 80. 81号横穴

#### 第2集団（指定地内中央の丘陵に分布）

- Aグループ（丘陵西斜面支谷南斜面に分布）——70. 71. 72号横穴
- Bグループ（丘陵東斜面に分布）——24. 25. 26. 77号横穴
- Cグループ（丘陵東斜面下段に分布）——27. 28号横穴
- Dグループ（丘陵東斜面に分布）——23. 29. 30. 31. 35号横穴
- Eグループ（丘陵東斜面上段に分布）——36. 37. 38. 39号横穴

図版38	35号横穴「ステンレス金網取り付け状況」	39
図版39	35号横穴「エボキシ凝土貼り付け状況」	40
図版40	31号横穴「護道部復元ステンレス骨組」	40
図版41	31号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」	41
図版42	31号横穴「発泡ウレタン被覆FRP貼り付け状況」	41
図版43	31号横穴「ステンレス金網取り付け状況」	42
図版44	31号横穴「エボキシ凝土貼り付け状況」	42
図版45	23号横穴「保存工事完成」	43
図版46	29号横穴「保存工事完成」	43
図版47	30号横穴「保存工事完成」	44
図版48	35号横穴「保存工事完成」	44
図版49	31号横穴「保存工事完成」	45
図版50	29、30、35、31号横穴「保存工事完成全景」	45
図版51	53号横穴前広場整地修景工事「完成」	46
図版52	53号横穴見学道舗装工事「完成」	46
図版53	53号横穴前広場芝舗装「完成」	47
図版54	36～39号横穴前庭部補強工事「着工前」	47
図版55	36～39号横穴前庭部補強工事（緑化ブロック）「完成」	48
図版56	36～39号横穴見学道設置工事「完成」	48
図版57	36～39号横穴見学道安全金網木柵設置工事「完成」	49
図版58	見学道舗装工事①〔6～8号横穴見学道〕「完成」	49
図版59	見学道舗装工事②〔9～11号横穴見学道〕「完成」	50
図版60	植栽工事〔12号横穴丘陵植栽〕「完成」	50
図版61	蓮池及び湿性植物園整備工事「完成」	51
図版62	園内照明工事「完成」	51
図版63	水飲み場整備工事「完成」	52
図版64	園路舗装工事①〔中央谷間園路〕「完成」	52
図版65	園路舗装工事②〔御諏訪池縁園路〕「完成」	53
図版66	園路舗装工事③〔稲荷池縁園路〕「完成」	53
図版67	堅穴住居復元広場修景工事	54
図版68	石塔のはらっぱ整地修景工事	54
図版69	外周園路工事〔中央谷間から稲荷池奥部〕	55
図版70	芝舗装〔稲荷池堤体前広場〕	55
図版71	公園案内板	56
図版72	園路案内標柱	56
図版73	みやざき歴史文化館全景	57
図版74	駐車場整備工事	57

Fグループ(丘陵東斜面に分布) — 32.33.74.76号横穴

Gグループ(丘陵南部支谷東斜面に分布) — 53.78号横穴

### 第3集団(指定地内東側の丘陵に分布)

Aグループ(丘陵先端部南斜面に分布) — 40.41.42.43号横穴

Bグループ(丘陵先端部南斜面に分布) — 44.50.45.46号横穴

Cグループ(丘陵先端部南斜面に分布) — 47.48.49号横穴

Dグループ(丘陵内支谷南斜面に分布) — 55.56.57.58.59号横穴

Eグループ(丘陵内支谷南斜面に分布) — 60.61.62.63号横穴

Fグループ(丘陵内支谷南斜面に分布) — 64.65.66.67.68号横穴

### 単独横穴

1号横穴—稲荷池奥の低湿地に延びた小丘陵の先端に位置。指定地からは外れる。

69号横穴—第1集団と第2集団の西側の奥に位置する。

73号横穴—指定地内中央丘陵の西側の支谷に開口するが、立地条件からは今後グループ化する可能性がある。

51号横穴—御諏訪池奥の西岸に位置し、急斜面の高い位置に開口している。

34号横穴—御諏訪池奥の湿地に延びた丘陵の南端に開口している。

54号横穴—御諏訪池奥の東岸斜面に開口する。

75号横穴—指定地内東丘陵の尾根近くに開口するもので、現在のところ一番高い標高を持つ。今後グループ化する可能性がある。

82号横穴—稲荷池奥部に西側に延びた丘陵の南斜面に開口し、今後グループ化する可能性がある。

## 2. 事業の経緯

史跡蓮ヶ池横穴群は、従来、県指定「住吉村古墳」として知られるところであったが、昭和40年代になって、大規模開発(宅地造成)の計画が進み、急速、昭和44に県教育委員会によって、緊急発掘調査が行われた。群墓を成す横穴墓分布の南限にあたることもあり、この緊急発掘調査の結果から、昭和46年7月17日に国の史跡指定を受けている。

昭和47年から50年にかけて、国庫補助を受けて、史跡地114,703.17㎡を公有化している。その他、指定地に隣接する用地約33,000㎡を市で単独買収している。

昭和59年、市制60周年記念事業として、史跡蓮ヶ池横穴群保存環境整備事業を決定し、同年基本構想を策定し、昭和60年基本設計を行うとともに、横穴の発掘調査(2~4号、6~8号、9~11号、12号の10基)及び見学道の一部を建設している。

昭和61年度は、12号横穴保存工事(前室内復元工事)のほか、市単独事業として幹線道路(延長L=335m、幅員W=5m)の建設を行っている。

昭和62年度は、横穴発掘調査(13~21号の9基)、横穴保存工事(2~4号、6~8号の樹

脂注入による補強工事、9~11号の復元補強工事)、修景工事(12号横穴周辺植栽工事、9~11号横穴前庭部修景工事、6~8号前庭部修景工事)、見学道建設(延長L=81m、幅員W=2m)を行うとともに、市単独事業として駐車場用地買収及び造成工事、広場工事(低地広場の排水造成)、幹線道路建設工事(延長L=320m、幅員W=5m)、溜池改修工事(取水、盛土、法面工事)、都市計画公園整備事業(中央低地組造成工事等)を行っている。

昭和63年度は、横穴発掘調査(23~33号、74号の17基)、横穴保存工事(2~4、6~8号横穴復元補強工事)、修景工事(16~21号横穴前庭広場、70~72号横穴前庭広場、73号横穴前庭広場の張り芝、四阿建設、植栽工事)。

都市計画公園整備事業では、広場工事(盛土造成工事2,248㎡、排水路工事875.5㎡)、御諏訪池対岸園路用地買収(1,228.60㎡)、御諏訪池対岸園路建設工事(延長L=210m、幅員W=3.5m)を行っている。

平成元年度は、横穴発掘調査(53号、71~73号の4基)、横穴保存工事(15、16~21.52号横穴復元補強工事)、修景工事(中央谷間の奥部、69号横穴の前庭広場の整形、造成、張り芝、植栽、ベンチの設置、及び12号横穴東斜面の整形、植栽、9~11号横穴から16~21号横穴前庭広場に通じる階段設置、中央谷間の東部丘陵尾根筋の見学道設置工事)を行っている。

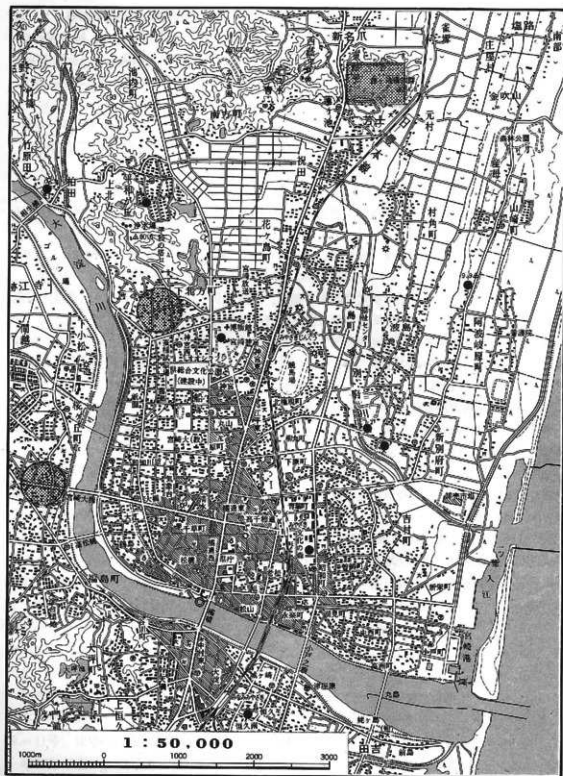
都市計画公園整備事業では、御諏訪池奥部低湿地の造成工事、排水路工事、修景工事、御諏訪池西岸支谷の造成工事、排水路工事、中央谷間の張り芝工事(2,678㎡)、植栽工事、園路工事(延長=200m、幅員W=3m)、水飲み場設置工事、及び中央谷間を蛇行するせせらぎ水路工事(205m)、稲荷池堤体前広場の修景工事を行っている。

平成2年度は、横穴保存工事(24~26、36~39、14、53、69、71~73号横穴の復元補強工事)、修景工事(53号横穴前庭広場工事、植栽)を行っている。

都市計画公園整備事業では、公園便施設(便所2棟建設)、御諏訪池奥部広場の張り芝、水路、植栽工事、稲荷池緑園路用地買収(831.98㎡)、稲荷池緑園路工事(延長L=259m、幅員W=3m)

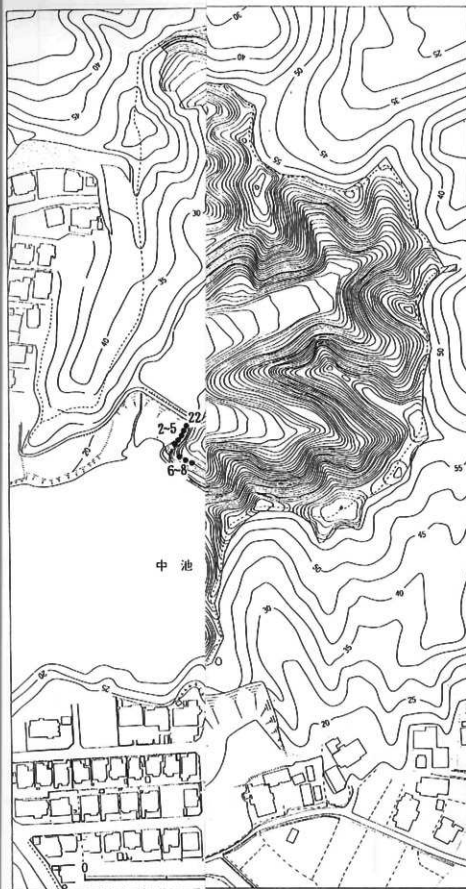
聖穴住居(方形2棟、円形1棟)建設、高床式倉庫(1棟)建設、御諏訪池緑園路掘木欄工事(延長L=225m)、公園用地買収(稲荷池西側丘陵)(4,276㎡)を行っている。

平成3年度事業については、次章で述べることにする。



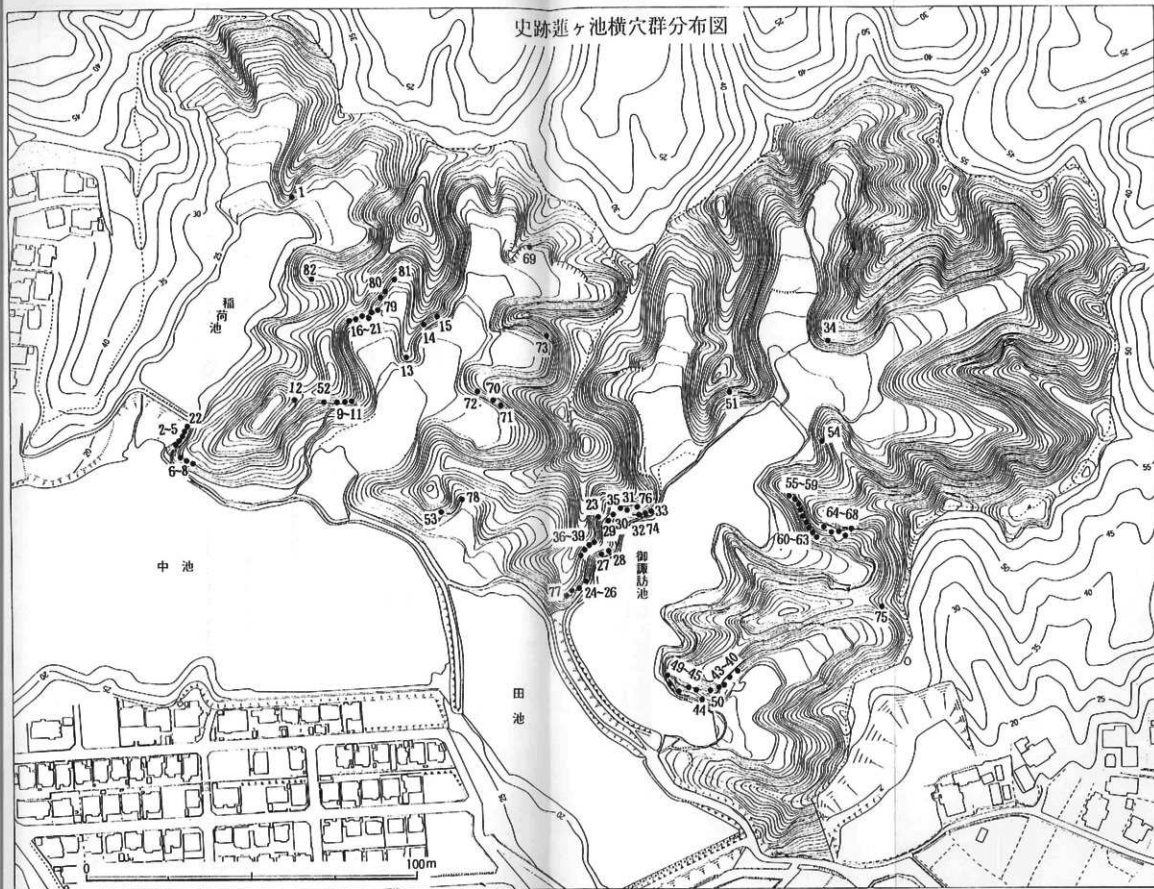
1. 下北方古墳群    2. 柏田貝塚    3. 池内権穴群    4. 大塚古墳群    5. 石神遺跡
6. 浮之城遺跡    7. 権遺跡    8. 浄土江遺跡    9. 船塚古墳    10. 恒久古墳

第1図 史跡蓮ヶ池横穴群位置図

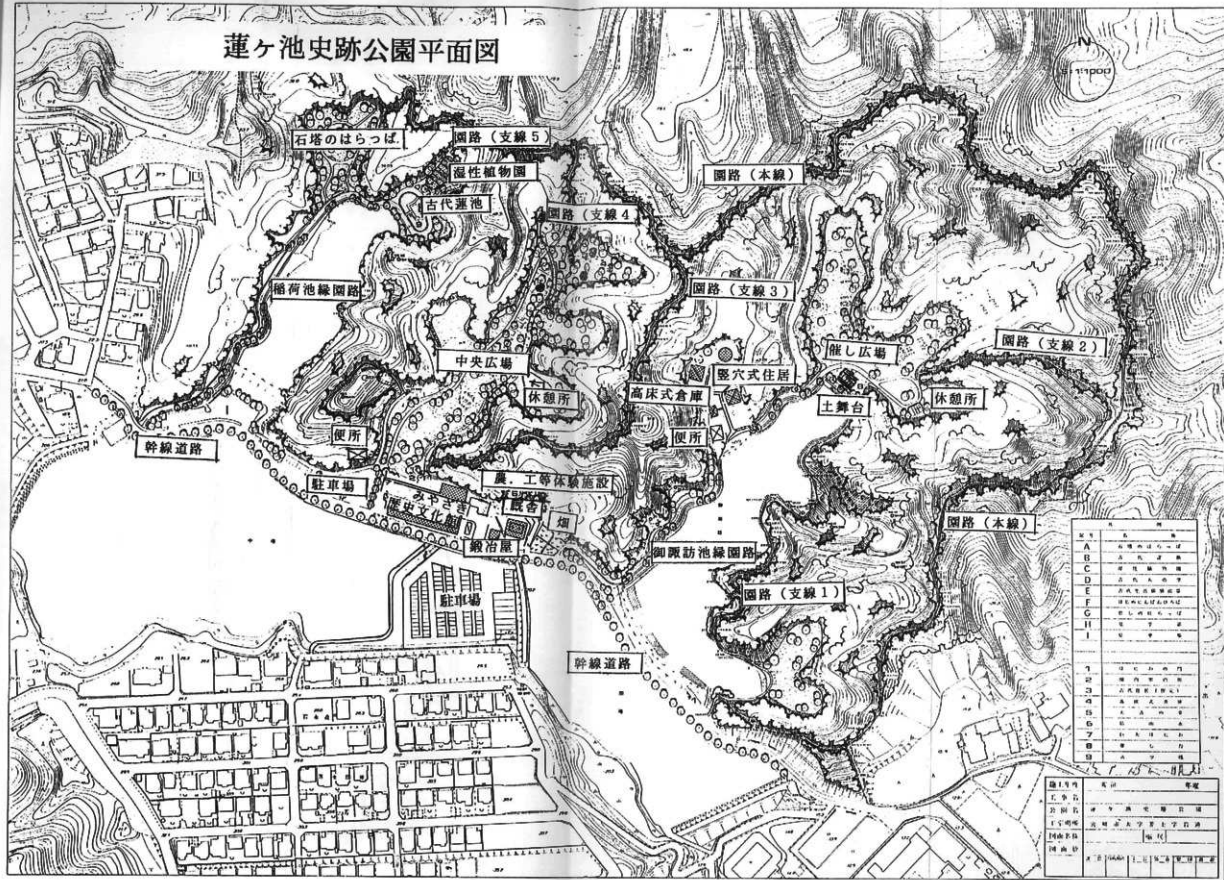




史跡蓮ヶ池横穴群分布図



# 蓮ヶ池史跡公園平面図



第3図 蓮ヶ池史跡公園平面図

SUSFB-4x60 タチ・ココ真 4250

アンカー-SUS5鋼線径φ4=300

φ150

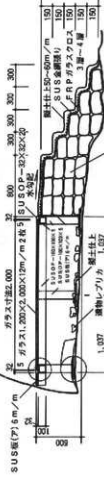
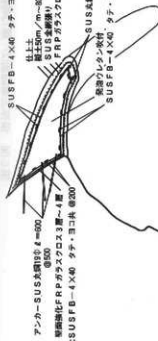
鋼線径FPPガラスクロス3層-4層 / SUS5鋼線径

埋置土 SUSFB-4x60 タチ・ココ真 4250

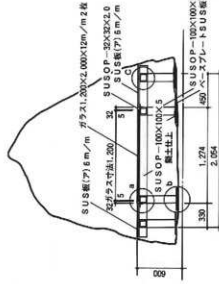
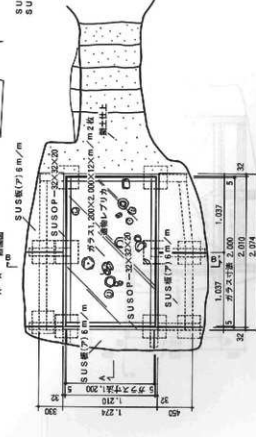
埋置土 SUSFB-4x60 タチ・ココ真 4250

埋置土 SUSFB-4x60

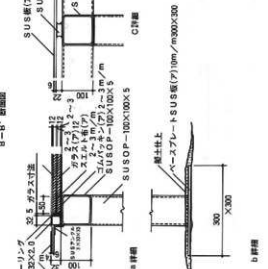
埋置土 SUSFB-4x60



A-A' 断面

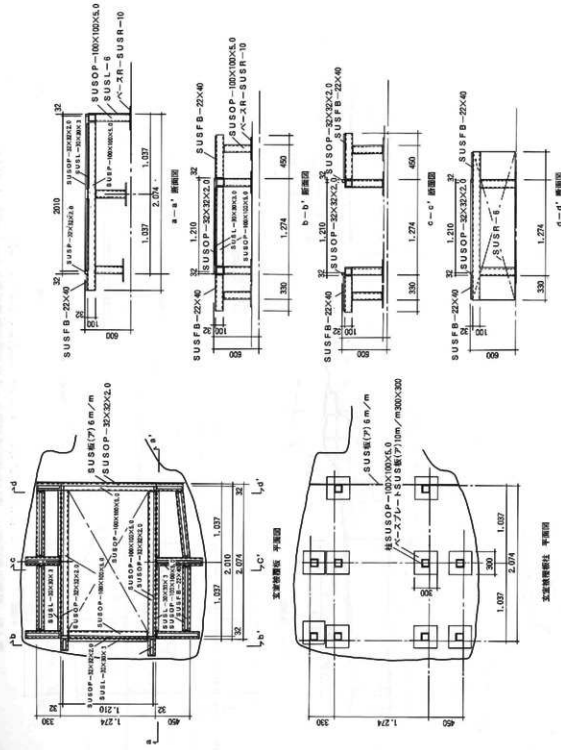


B-B' 断面

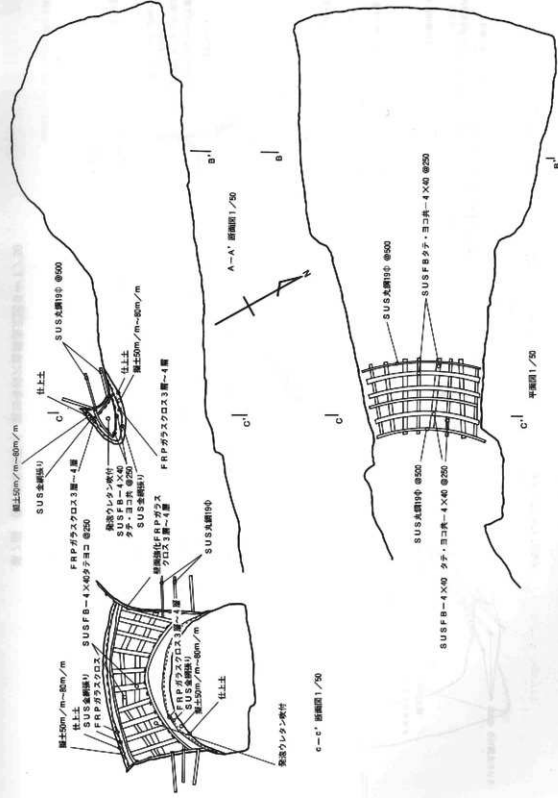


断面

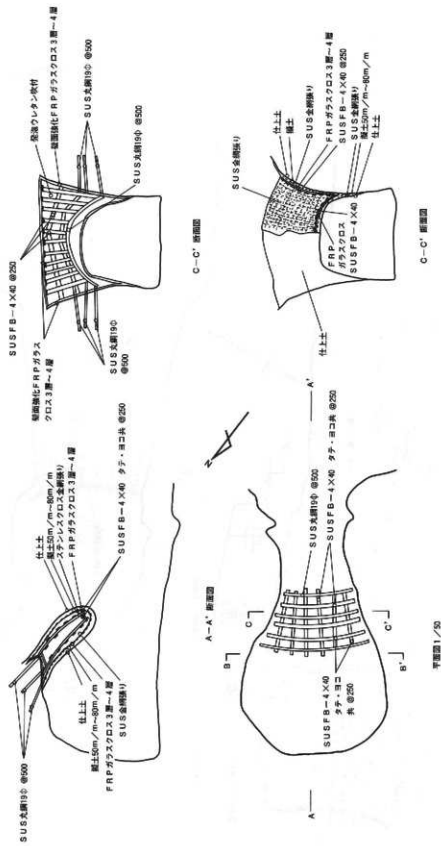
第4図 保土工事断面(1) 新13号橋穴造構復元・土質改良仮護欄工事①S=1/50, 1/12.5



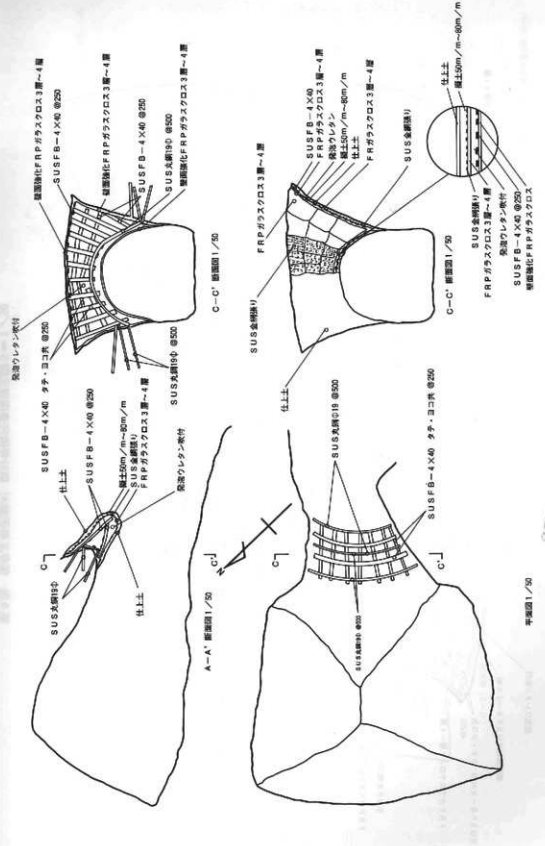
第5図 保存工事断面② 第13号構内梁構造元・支掌柱間梁構造元断面② S = 1/50



第6図 保存工事断面③ 第22号構内梁構造元断面 S = 1/50



第7図 保冷工事断面(4) 第29号構穴置構複元図 S=1/50



第8図 保冷工事断面(5) 第30号構穴置構複元図 S=1/50



## 第Ⅱ章 平成3年度、保存環境整備事業の概要

平成3年度は、横穴の保存工事、修景工事を実施している。その他、都市計画公園整備事業として、蓮池、湿地園、広場の修景工事、史跡公園外周園路工事、園内照明工事、案内板設置工事等を行っている。また、駐車場整備工事、みやざき歴史文化館の外構工事、園内幹線道路補装工事及び植栽工事を行っている。

### 1. 横穴保存工事

横穴の保存工事は、昭和61年度に、12号横穴（1基）の復元、補強工事から始まり、昭和62年度に3基、63年度に6基、平成元年度に9基、平成2年度に13基の保存工事を終わっている。平成3年度は、13号（昭和62年度計測調査）、23号、29～31号、35号（昭和63年度計測調査）の6基の保存工事を実施している。

保存工事を行った13号横穴は、指定地内西側の丘陵に分布する、第1集団Dグループ（丘陵東斜面奥部に分布）に属し、23、29～31、35号横穴は、指定地内中央の丘陵に分布する第2集団Dグループ（丘陵東斜面に分布）に属している。

以下各横穴の保存工事の概要を記す。

#### (1) 13号横穴

##### ア. 構造と現況

丘陵先端部にあつて尾根筋に添って掘込まれた妻入りタイプで、全長2.7m、最大幅2.4m最大高は崩落のため不明。崩落が著しく原形を保っているのは床面のみである。しかし、早いうちに崩落したものと思われ、床面に埋葬時の遺物が多く出土しており、埋葬時の状態を復元し葬制の学習を目的にした保存工事を行った。

##### イ. 保存工事

天井部及び側壁部の大半が崩落しているため、玄室部にかかる天井部は完全に復元し、羨道部にかかる天井部については縦位に半載した状態の復元を行った。

①羨道壁面及び全面壁にステンレス丸棒による支柱打ち込み。

②玄室及び羨道部天井は、ステンレス丸棒支柱に、ステンレスフラットバー、ステンレスL型を溶接し骨格となる復元型枠組みを行う。

③ステンレス骨組みに、金剛固定用針金を取り付ける。

④復元、及び補強に合った厚さにウレタン吹き付けを行う。

⑤ウレタンを被覆するため、FRP（ポリライト、シロカパウダー刷毛塗り、ガラスクロス）を貼り、3層にする）を貼り付ける。

⑥ステンレス金網取り付け（1.2mm、8mmメッシュの金網を針金、又はステンレスビスにて固定）

⑦エポキシ凝土貼り付け（アラライトGY1252とハードナHY837を5：2の割合に、ガラスチップと乾燥土とを攪拌した凝土を金網の上に取り付ける。）

⑧サイト凝土貼り付け（サイトFX主剤とサイトFX硬化剤を2：1の割合に、ガラスチップと乾燥土とを攪拌した凝土をエポキシ凝土の上に貼り付けて表面仕上げを行う。）

以上の手順による工法、作業を行い、開口保存としている。

##### ウ. 葬制学習復元工事

横穴墓の埋葬状態を復元し、見学、学習に供するため、副葬品のレプリカを作成し発掘調査で得た出土状態を復元するための施設設置工事を行った。

①墓道及び羨道部については、床面から45cmの高さまで土のうを積み公園広場の地面高に合わせた。地表面を強化するため、土のう積み上面をFRPガラスクロスにて3層から4層に被覆しその上にステンレス金網を張り、50～60mmの厚さにエポキシ凝土を貼り付けて仕上げている。

②玄室部は床面における遺物等の出土状態をレプリカ等を使って復元するため、それらを保護する被覆板を製作設置した。

被覆板は床面から45cm浮かせることにし、ステンレス角柱をベースプレートに溶接し床面をいためないようにした。上面板は床面の出土状態を観察できるように中央部に強化ガラス（1,200×2,000×12mm）2枚をはめこむようにした。周囲はステンレスフラットバーを連続溶接した板面を造り、ステンレス支柱、ベースプレート、ステンレス板面ともにエポキシ凝土を貼り付けて仕上げる。

##### ③レプリカ作成

出土した須臾器（蓋、坏）、高台付坏、土師器13点を複製し、玄室床面に配置接着している。

#### (2) 23、29～31、35号横穴

##### ア. 構造と現況

##### ・23号横穴

Dグループ内で、一段高い位置に構築された横穴で、形態は平入りタイプで、羨道は前面部幅1.4m、奥部幅2.3m、長さ2.8m、玄室は入口幅2.5m、奥壁部幅3.4m、長さ3.1m、天井高2.2mの「寄棟造り」構造をなす。西側壁寄り及び玄室入口部に排水溝が残る。奥壁及び側壁に調整痕が見受けられる。

##### ・29号横穴

23号横穴より下段にあり、4基の横穴が並ぶ。小型の横穴で崩落が著しい。羨道部に閉塞溝が残る、形態は明確でなく退化形式を取る。羨道は、幅0.8m、長さ1.2mで玄室に到るが、玄室入口部の袖はなく不明瞭である。玄室は中央部幅1.9m、長さ約2m、天井高は、現高で1.6mを測る。

##### ・30号横穴

29号横穴の北東となりに位置する。形態は平入りタイプで、羨道は前面部幅1.1m、奥部幅1.7m、長さ1.2m、玄室は入口幅2.5m、奥壁部幅3.2m、長さ2.9mで、天井は現高で1.9mの「寄棟造り」構造をなす。

・31号横穴

30号横穴の北東に離れて位置し、間に35号横穴を挟む。形態は妻入りタイプで、羨門部に閉塞溝が残る。羨道は幅1.3m、長さ1.1m、女室は入口幅1.7m、奥壁幅2.6m、長さ2.4mで、天井は現高で1.7mの「寄棟造り」構造をなす。

・35号横穴

31号横穴の西となり位置しやや小型の横穴で羨道及び女室部の天井は著しく崩落している。形態は妻入りタイプで、羨道は幅0.6m、長さ1.1m、女室は入口幅1.5m、奥壁幅2.6m、長さ1.1mで、天井は現高で2.1mを測り「寄棟造り」構造が確定できる。

イ. 保存工事

・23号横穴

女室天井部の一部及び羨門部天井が崩落している他は良く原形を留めている横穴である。したがって崩落を受けている羨道部天井と羨門口の復元補強工事を行っている。また、女室内部に樹脂含浸を行う強化工事を行っている。

・29号横穴

女室奥部の天井を残すのみで崩落の著しい横穴である。したがって、女室天井部及び羨道天井及び羨門口の復元補強工事を行っている。また、女室奥部及び側壁に樹脂含浸を行う強化工事を行っている。

・30号横穴

羨道部天井及び女室西側側壁の崩落が著しい横穴である。したがって、羨道部天井と羨門口の復元補強工事と女室内部に樹脂含浸を行う強化工事を行っている。

・31号横穴

羨道及び女室西壁に崩落が見受けられるが原形を留めている横穴である。したがって崩落を受けている羨道部天井と羨門口の復元補強工事と女室内部に樹脂含浸を行う強化工事を行っている。

・35号横穴

羨道部天井及び女室部の天井は崩落が著しい横穴である。したがって、女室天井部及び羨道天井部と羨門口の復元補強工事を行っている。また、女室内部に樹脂含浸を行う強化工事を行っている。

以上のように、横穴の復元補強工事は共通した工事であり、以下工事の概要を記す。

①ステンレス丸棒で、羨門口アーチ、アングルを作り、ステンレスアングルにステンレス丸棒、ステンレスフラットバー、ステンレスL型をからめた枠組み（骨組み）をステンレス丸棒の支柱に固定する。支柱は羨道部側壁にドリルで穴をあけた後にステンレス丸棒を打ち込み、アラルダイト凝土（エポキシ系樹脂）で固定している。

②骨組みに、ウレタンの厚みに応じた長さを持つ針金を取り付ける。

③復元寸法に合った厚みに、硬質発泡ウレタンを吹き付ける。

④発泡ウレタン硬化後、復元に合った表面整形を行う。

⑤発泡ウレタンに被覆するため、FRPを貼る。（ポリライトFS-112Uを刷毛塗りし、その上にガラスクロスを貼る作業を繰り返し3層にする。）

⑥FRPの上にステンレス金網を取り付ける。（1.2mm、8mmメッシュの金網を骨組みから出して針金で固定し、さらにステンレスにて完全固定を行う。）

⑦FRPと金網との空間を埋めるように、エポキシ凝土（エポキシ系樹脂-アラルダイトGY1252と硬化剤-ハードナーHY837を5：2の割合にガラスチップと乾燥土を攪拌したもの）を押圧貼り付けを行う。

⑧通水、通気性に富んだサイト凝土（サイトFX主剤とサイトFX硬化剤を2：1の割合にガラスチップと乾燥土とを攪拌したもの）による表面調整と仕上げを行う。

## 2. 修景工事

今年度は、下記の修景工事を行っている。

①史跡地中央部に、北方向に入り込む谷間と東に位置する御諏訪池との間に、南方向に延び出す丘陵の先端部に、湾曲して、二又に別れて入り込む小支谷があり、その支谷の東斜面に53号、78号横穴が開く前庭広場の修景工事（客土整地工事、植栽工事（茶の木130本）、見学道舗装工事、芝舗装（A=93㎡））

②御諏訪池線园路に接する丘陵中腹に分布する36号～39号横穴の前庭部法面保護補強工事及び修景工事（緑化ブロック設置（A=68.2㎡）、ササ竹植栽）

③36号～39号横穴への見学道設置工事（L=50.5m）と安全凝土木柵設置工事（L=30.5m）、植栽工事

④見学道舗装工事〔6、7、8号横穴より9、10、11号横穴前まで（A=371㎡）〕

⑤12号横穴のある丘陵の植栽－〔タブ（5本）、サクラ（5本）、ヤブツバキ（3本）、〕

## 3. 都市計画公園整備事業

建設省の補助を受けて行う公園整備では、本年度は、下記事業を行っている。

(1) 稲荷池奥部広場に古代蓮を植栽する蓮池の建設、湿性植物を植栽する湿地園工事、水路工事（L=280.3m）、擬木柵工事（L=195m）

(2) 園内照明工事、配線工事（L=1,809.4m）、ハンドホール14基、照明灯9基）

(3) 野外便所浄化槽設置工事1ヵ所、配管工事（L=918m）、水飲み場設置工事3ヵ所

(4) 御諏訪池線园路及び中央谷間园路舗装工事（A=1,860.3㎡）、御諏訪池西側支谷の堅欠住居復元広場修景工事（芝舗装工事（A=930㎡）、水路工事（L=205m）、植栽工事一式）

(5) 石塔のはらっぱ整地及び芝舗装工事（A=1,491㎡）、稲荷池線园路舗装工事（A=1,36



- 4m<sup>2</sup>)、中央谷間奥部から稲荷池奥部広場に通ずる外周園路一式、植栽工事一式
- (6) 稲荷池堤体前部広場芝鋪装 (A=490m<sup>2</sup>) 植栽工事一式、公園案内板等設置工事 [案内板2基、園路案内標柱30基]
- (7) せせらぎ水路揚水施設工事 [ポンプ設置2台、電気設備工事一式、管路施設工事一式]

#### 4. みやざき歴史文化館建設事業及び関連事業

- (1) 軀体の建設 [平成2年から平成3年の継続事業 (鉄筋コンクリート2階建て正倉院風杖倉造り、延べ床面積2,204m<sup>2</sup>)]、展示工事
- (2) みやざき歴史文化館の外構工事
- (3) 駐車場整備工事 [用地買収 (A=5,954.69m<sup>2</sup>)、造成工事、植栽工事]
- (4) 園内幹線道路舗装工事

図 版



圖版1 13号横穴「全景」



圖版2 13号横穴「保存工事着工前」



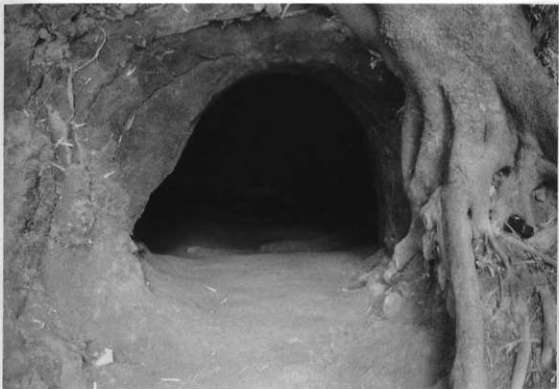
图版3 23号、29号、30号、35号、31号横穴【全景】



图版4 23号横穴【保存工事着工前】



图版5 29号横穴【保存工事着工前】



图版6 30号横穴【保存工事着工前】



図版7 35号横穴「保存工事着工前」



図版8 31号横穴「保存工事着工前」



図版9 13号横穴「ステンレス骨組支柱」



図版10 13号横穴「玄室及び羨道部復元骨組」



図版11 13号横穴「ステンレス金網固定針金取り付け状況」



図版13 13号横穴「FRPによるウレタン被覆後の金網取り付け状況」



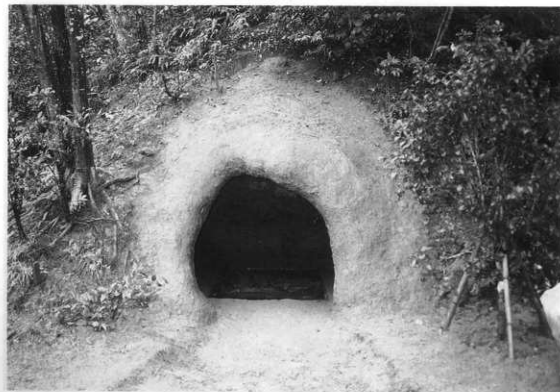
図版12 13号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」



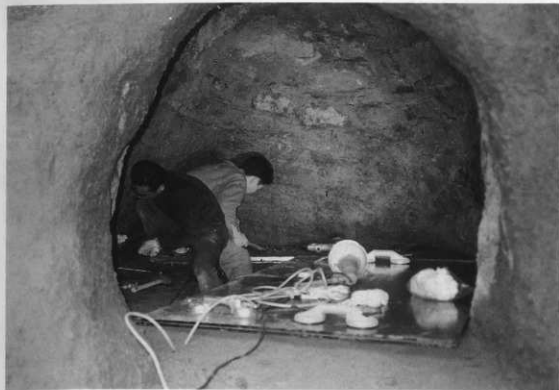
図版14 13号横穴「金網取り付け後のエポキシ凝土貼り付け状況」



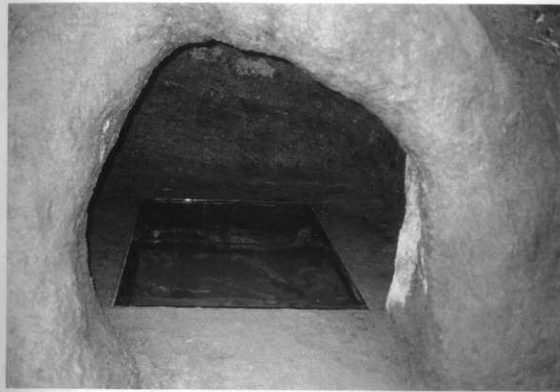
〔上部〕 図版15 13号横穴「羨道内部エボキシ製土貼り付け状況」



〔下部〕 図版16 13号横穴「玄室天井、羨道部保存工事完成」



図版17 13号横穴「玄室床面保護被覆板設置工事状況」



図版18 13号横穴「玄室床面保護被覆板設置工事完成」



図版19 23号横穴「羨道部復元ステンレス骨組」



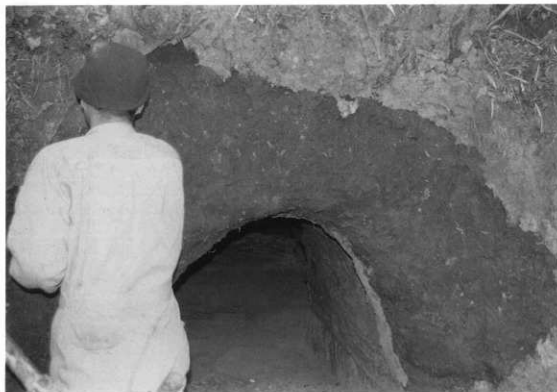
図版21 23号横穴「FRP貼り付け状況」



図版20 23号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」



図版22 23号横穴「ステンレス金網取り付け状況」



図版23 23号横穴「エボキシ凝土貼り付け状況」



図版24 29号横穴「玄室及び脱門部復元ステンレス骨組」



図版25 29号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」



図版26 29号横穴「発泡ウレタン吹き付け整形状況」





図版27 29号横穴「FRP貼り付け状況」



図版29 29号横穴「エポキシ凝土貼り付け状況」



図版28 29号横穴「ステンレス金網取り付け状況」



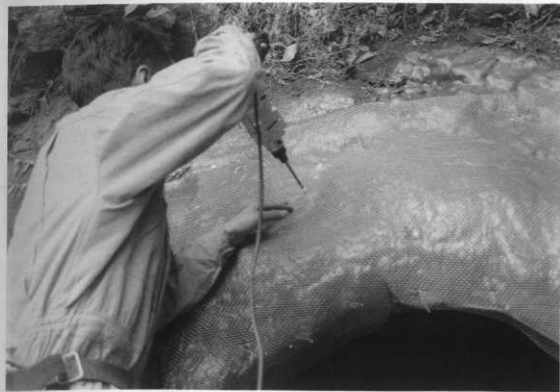
図版30 29号横穴「サイト凝土貼り付け状況」



図版31 30号横穴「裏門部復元ステンレス骨組」



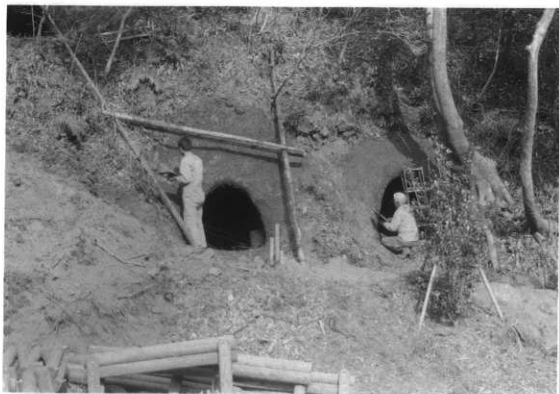
図版32 30号横穴「発泡ウレタン吹き付け後のFRP貼り付け状況」



図版33 30号横穴「ステンレス金網のビス止め状況」



図版34 30号横穴「エボシキ麗土貼り付け状況」



図版35 30号横穴「サイト擬土貼り付け状況」



図版37 35号横穴「発泡ウレタン被覆、FRP貼り付け状況」



図版36 35号横穴「玄室天井及び護道、羨門口復元ステンレス骨組」



図版38 35号横穴「ステンレス金網取り付け状況」



図版39 35号横穴「エボキシ掘土貼り付け状況」



図版40 31号横穴「渡道部復元ステンレス骨組」



図版41 31号横穴「発泡ウレタン吹き付け状況」



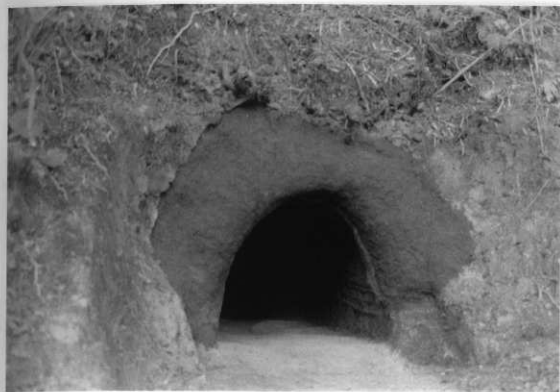
図版42 31号横穴「発泡ウレタン被覆FRP貼り付け状況」



図版43 31号横穴「ステンレス金網取り付け状況」



図版44 31号横穴「エポキシ黼土貼り付け状況」



図版45 23号横穴「保存工事完成」



図版46 29号横穴「保存工事完成」



圖版47 30号横穴「保存工事完成」



圖版49 31号横穴「保存工事完成」



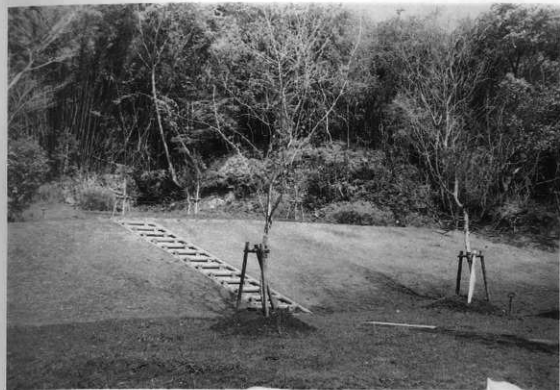
圖版48 35号横穴「保存工事完成」



圖版50 29、30、35、31号横穴「保存工事完成全景」



図版51 53号横穴前広場整地修景工事[完成]



図版53 53号横穴前広場芝舗装[完成]



図版52 53号横穴見学道舗装工事[完成]



図版54 36~39号横穴前底部補強工事[着工前]



図版55 36~39号横穴前底部補強工事〔緑化ブロック〕〔完成〕



図版56 36~39号横穴見学道設置工事〔完成〕



図版57 36~39号横穴見学道安全柵木橋設置工事〔完成〕



図版58 見学道舗装工事①〔6~8号横穴見学道〕〔完成〕





図版59 見学道舗装工事②〔9～11号横穴見学道〕〔完 成〕



図版60 植栽工事〔12号横穴丘陵植栽〕〔完 成〕



図版61 蓮池及び溼性植物園整備工事〔完 成〕



図版62 園内照明工事〔完 成〕



図版63 水飲み場整備工事〔完成〕



図版64 園路舗装工事①〔中央谷間園路〕〔完成〕



図版65 園路舗装工事②〔御碑防池縁園路〕〔完成〕



図版66 園路舗装工事③〔稲荷池縁園路〕〔完成〕



図版67 竪穴住居復元広場修景工事



図版68 石塔のはらっぱ整地修景工事



図版69 外周囲路工事(中央谷間から稲荷池奥部)



図版70 芝舗装(稲荷池堤体前広場)



図版71 公園案内板



図版72 園路案内標柱



図版73 みやざき歴史文化館全景



図版74 駐車場整備工事

蓮ヶ池横穴群

保存整備事業概報Ⅵ

(横穴保存工事・修景工事)

平成4年4月31日

編集・発行 宮崎市教育委員会

印刷 合資会社愛文社印刷所

宮崎市高洲町222番地

